



# 長円寺

足立区千住元町4-27-5

## 山松月

①扁額 『月松山』正木健順の揮毫

②乳泉石



①正木建順は、群雀堂(正木塾)三代目校主。寺子屋教育・地域文化発展に貢献。漢詩や詩文にも優れた人物。

②三門を入ると、すぐ左側に小さな堂があり、魚籃観音様が奉られている。

④



③乳泉石(にゆうせんせき) この石は乳の出を良くすると評判で、石(炭酸カルシウムを含む石灰岩質)を削ってお参りする人に分けていたと伝えられる。

④目やみ地藏さま(子育て地藏)

山門外の左側に、小さなお堂があり通称『めやみ地藏様』と呼ばれていて、昔から目の病を持つ人が多く訪れた。給馬屋さんの、『め・め』という給馬も多数奉納されている。



# 四丁目氷川神社

足立区千住元町4-31-2 (長円寺のすぐ並び)

●静御前の山車は区の指定文化財(現在は郷土博物館が展示・収蔵) 明治5年の落成で、人形は『ねずみや五兵衛』の作と伝えられる。高さは約7.5メートル。 天辺には静御前のからくり人形が舞う。

●正木襟蔭事石碑  
●高正天満宮縁起碑



②石造 魚籃観音立像



# 清亮寺

足立区日の出町42-1

## 山榮久

- ①扁額 『久栄山』 中村不折の揮毫。 慶応2年(1866)生まれ。根岸に書道博物館を創設した人物。
- ②山門を入った左側墓地に解剖人墓。 明治三(1870)年、南千住小塚原で処刑された死罪人の遺体は、同所回向蔭にて回向。その後この寺に運ばれて、腑分け(解剖)された。古い墓は明治五年、破損が大きくなり、昭和四十年に作られた新しい墓と並んでいる。
- ③槍かけの松跡地 徳川光圀(水戸の黄門様)が江戸に向かう大名行列で水戸街道を進行中、槍持ち(いかなる理由でも、槍を倒してはいけなかった。)が、街道に張り出した立派な松を、通行のため切ろうとしたときに、『伐るのは惜しいので、ここで槍をかけ、休みを取り、枝の向こうから槍を持てば、槍を倒したことはない。』と松を称えたことから『槍かけの松』と呼ばれ、全ての大名行列が、この寺で足を休めたと伝えられる。有名な『やりかけ団子』の店名もこの松に由来。



# 名倉医院

足立区千住5-22-1

江戸時代から接骨医として有名な史跡。カゴや車で運ばれてくる骨接骨患者が医院周辺にも、宿泊して治療ができる宿屋があり、主人は代々名倉の医師も兼ねていた。



# 虹の広場

荒川土手 虹の広場。四季折々、花も咲いて、のんびりできます。



# 給馬づくり

足立区千住4-15-8 給馬屋

『藝術は美しく、給馬は優しく』

無形民族文化財保持者 吉田晃子さん

●大きさは、普通15-30センチ。経木に胡粉を塗り、極彩色の泥給の具で描画。家伝の図柄を描く。家形の小給馬の他、かつては板に描く付木給馬という品もあったらしい。給馬屋さんで給馬を買えます。お祭りの地口あんどんの給も給馬屋さんの仕事。

